



自転車で通勤していると天気の変化といつも一緒だ。風が吹くやら、雪が降るやらと変わりやすい毎日だが寒さにこごえる日は少ない。暖冬とは本当のようですね。今年の台風は風が強くて困った。橋の上で走れなくなり、風の息つくのを待っていたりしていたが、あと10mも走れば抜けられるのに、そこがどうもできない風も吹く。そういえば前に山頂で突風にたたかれて腕時計が止まってしまったこともあった。風のこわさを感じている。遠くの雲の流れや風の変化を目の端にとらえていつも走っている。

雪の日は久しぶりで怒りながら走った。朝からわだちが凍って神経と腕力をすり減らしてゆっくり走っていた。こんな時は地域の住民の程度がわかるものだ。気持ちのいい住宅街は朝からぽつぽつと雪をかいてくれているし、浅草なんかは路地の方がきれいだけれど、振興住宅街は表通りだけがきれい。国道の四つ角の信号を渡ったらとたんに凍った雪が歩道に山になって難儀した。見回すとあとの3箇所はきれいなのだ、いまにもつぶれそうなぼろの工場もちゃんと道をきれいにしてくれていた。この積もった所は大きな銀行の前なのだ。まだ働く人が出勤してこないのだろうと思ったが、良く見たら、歩道に接した自分の敷地だけきれいにまっすぐ敷地の境界どおりに雪をどけていて、その前の歩道にはまったく手を付けていないというより歩道に雪をのけたということがわかった。中は明るく電気がついて薄着ではたらいているのが見えるのだ。なんだかそういう自分だけよければ良いというやり方にはらがたった。考えすぎだが、大企業の不況乗り切り策として、下請けや外注や社員までみんな切って会社だけ残ったことで、「わが社の不況乗り切り策は着実に成果をあげている。」と堂々と言っはずかしくない人達をおもいださせてくれた。ひとりひとりの人が大切なのだ、きりすていいひとはいないのだと思ひながらホームレスの間を走って走りつづけた。

事務所に着いて仕事をしていたら電話があった「こちらは警視庁高速機動隊ですが」という。何かと思ったら有限会社ノームプランニングと書いてある車が何かやって高速道路を逃がっているらしい。うちの車と言えは我が4万キロを走った通勤用のママチャリしかないが。一度高速道路を旗でも立てて走ってみるのもいいかもしれないと思った。そういえば検察庁長官の狙撃犯の容疑者として写真を撮られたのもママチャリと一緒に走ったからすぐに私が浮かんだのだろうか。年の暮れだししっかりしないといかん。となんだか無性に思った。

ノームはこのごろ時間がとれるようになりました。絵本作りはまだ続いていて今月は雪のモンゴルを書きました。書けば書くほどたくさん書きたくなります。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com